

～2011 年度第 5 回研究会 プログラムのご案内～

■■■ 発表時間：25 分（発表 18 分，質疑応答 7 分）■■■

【開会挨拶】9:30—9:35 【72 号教室】

■第 1 会場（71 号教室）

【セッション 1】9:35-10:50

1. 算数困難児を対象とする学習用教材と支援システムの開発
池守 樹、松永 信介、稲葉 竹俊（東京工科大学大学院）、濱田 豊彦（東京学芸大学 特別支援科学講座）
2. 聴覚障害者のためのアンドロイドモバイル端末を用いた学年別ルビ付き逐次文字提示システム
小林 正幸、三好 茂樹、石原 保志（筑波技術大学）
3. 読みを付与する Web 読解支援システムを利用した授業支援の試み
溝渕 昭二（近畿大学）、安藤 一秋（香川大学）、越智 洋司（近畿大学）

=== 休憩（10:50-11:00） ===

【セッション 2】11:00-12:15

4. CLIP(Cloud and Learning Information Platform)の開発
清水 英典（玉川大学）
5. 成長型教授設計プロセスのためのクラウド型教育環境の構想
三石 大、今野 文子（東北大学）、大河 雄一（東北大学大学院）、橋本 浩二（岩手県立大学）、佐々木 整（拓殖大学）、本郷 哲（仙台高専）
6. アノテーションを共有するクラウド環境上のシステムを用いた協働学習の効果
松本 哲（神戸大学）、堀出 雅人・西之園 晴夫（NPO 法人 学習開発研究所）

=== 昼休憩（12:15-13:30） ===

【セッション 3】13:30-15:10

7. 授業ストーリーミングビデオの時間軸に沿った学習者の注目度を推定する手法の検討
浅羽 修丈（北九州市立大学）、三石 大・大河 雄一（東北大学）、斐品 正照（東京国際大学）
8. 作業録画システムを用いた e-Learning 本人確認の運用
高橋 勇（北里大学）
9. 拡張性を有する学習支援システムアーキテクチャの現状と応用
仲林 清（千葉工業大学）、森本 容介・青木 久美子（放送大学）
10. 学習履歴可視化による分析とその医学教育への応用
小柏 香穂理（山口大学）、浜本 義彦（山口大学大学院）

=== 休憩（15:10-15:20） ===

【セッション 4】15:20-17:00

11. 学級のいじめ問題に関するマルチエージェントシミュレーション
宮田 健・山口 真之介（九州工業大学大学院）、大西 淑雅（九州工業大学）、津森 伸一（近畿大学九州短期大学）、佐藤 直樹・西野 和典（九州工業大学大学院）
12. 携帯情報端末に記憶された私的な情報を用いた分散最適化と教育現場への応用
女鹿野 大志・小野 智司・中山 茂（鹿児島大学理工学研究科）
13. バージョン管理システム Git の Web ベースインタフェースの開発
横山 裕一・香川 考司（香川大学大学院 工学研究科）
14. ソースコードの履歴を用いた学習者のデバッグ過程の分析
杉山 裕（拓殖大学大学院）、蓑原 隆（拓殖大学）

■第2会場（72号教室）

【セッション1】9:35-10:50

15. 学習目標と関連付いたブックマークと学習過程を共有するウェブ調べ学習環境の提案
芳沢 将宏・三好 康夫・田所 亮 (高知大学)、金西 計英 (徳島大学)
 16. 留学生のための関連情報共有型講義理解支援システムの評価
岡本 健吾・中條 夕貴・吉野 孝 (和歌山大学)
 17. 研究活動を支援するイノベティブなコミュニティ形成の要因調査
根本 淳子・竹岡 篤永・井ノ上 憲司・久保田 真一郎・柴田 喜幸・鈴木 克明 (熊本大学)
- == 休憩 (10:50-11:00) ==

【セッション2】11:00-12:15

18. ハイパー学習空間の構築による知識洗練化支援
成田 幸紀・岡本 竜 (高知大学)
 19. 様々な環境の同期対面型講義を考慮した講義支援システムにおけるコメント収集手法の検討
高松 真伍・勅使河原 可海 (創価大学)、高木 正則 (岩手県立大学)
 20. Twitterによるレスポンス情報を可視化するプレゼンテーションシステムの開発
越智 洋司 (近畿大学)、中筋 浩之(近畿大学大学院)、井口 信和(近畿大学)
- == 昼休憩 (12:15-13:30) ==

【セッション3】13:30-15:10

21. 作問演習において理解度向上を支援する作問手順の検討
小谷 篤司 (創価大学)、高木 正則 (岩手県立大学)、望月 雅光・勅使河原 可海 (創価大学)
 22. Moodleにおける穴埋め問題支援ツール作成と検討について
五月女 仁子 (神奈川大学)
 23. 概念空間を用いた択一式テストにおける難易度の項目応答理論による評価
山下 貴志(九州工業大学)、山口 真之介 (九州工業大学大学院)、大西 淑雅 (九州工業大学)
津森 伸一 (近畿大学九州短期大学)、西野 和典 (九州工業大学大学院)
 24. eポートフォリオにおけるタスクを用いた学習評価方法の提案
寺村 将・勅使河原 可海 (創価大学大学院)、望月 雅光 (創価大学)、高木 正則 (岩手県立大学)
- == 休憩 (15:10-15:20) ==

【セッション4】15:20-17:00

25. ICT利用環境に関する諸問題(2) -ICTと教育-
金山 茂雄 (拓殖大学)、窪田 健一 (静岡英和学院大学)
26. MIDI楽器の演奏情報を用いた楽曲検索システムの検討
菊田 明日香・大津 直貴・鷹野 孝典 (神奈川工科大学)
27. Android OS 上での俳句アプリケーションの開発
高田 伸彦 (金沢学院大学)、鈴木 雅実 (KDDI 研究所)、柳澤 良一・春名 亮・吉田 一誠 (金沢学院大学)
28. 日本語教育資源・資産の総合的管理システムの概念
沢 恒雄 遊工学研究所

【閉会挨拶】17:00-17:05 小野 智司 鹿児島大学

■■■ 問い合わせ先 ■■■

- 問い合わせ 第5回研究会担当委員(佐々木 整、三石 大)
E-mail: jsise-uml_at_eitl.cs.takushoku-u.ac.jp (_at_ を@に変えてください)

『JSiSE 学生研究発表会』発表者募集のお知らせ

教育情報システム情報学会 渉外・活性化委員会

関係者各位

平素は、教育システム情報学会の活動にご協力頂き、ありがとうございます。
さて、教育システム情報学会 渉外・活性化委員会では、恒例の「学生研究発表会」を下記の通り企画しました。

発表してみたいけれども学会はちょっと…という学生諸君、自分の研究に関して、広くアドバイスを求めたい、力試しをしてみたい、という院生諸君、指導教員として、年度のまとめとして発表させたい、とお考えの先生方、ふるって発表申し込みのほど、よろしくお祈いします。

記

1) 開催地区、開催都市、開催日：(括弧内は、共催支部名)

開催地区	開催都市	開催場所	開催日(2012年3月1日～15日の間)
北海道：	札幌	千歳科学技術大学	3月14日(水)
関東：	東京	八王子学園都市センター	3月9日(金)
北信越：	長野	信州大学長野(工学)キャンパス	3月9日(金)
東海：(東海支部)	名古屋	名城大学名駅サテライト MSAT	3月13日(火)
関西：(関西支部)	大阪	関西学院大学大阪梅田キャンパス	3月10日(土)
中国：(中国支部)	岡山	岡山大学	調整中
四国：	高松	香川大学工学部	調整中
九州：	福岡	九州工業大学情報工学部	調整中
沖縄：	那覇	琉球大学総合情報処理センター	3月2日(金)

2) 内容：

- *研究発表(口頭発表)
- *ポスター発表(会場によっては募集しておりません。)

3) 発表者資格：

- 大学生(短大生、高専4・5年生・専攻科を含む)、
- 大学院生(マスターコース、ドクターコース在籍者)
- 社会人学生も参加可能です。
- *JSiSE 正会員の推薦が必要です。
- *留学生の方の発表(英語・日本語)の発表も歓迎します。
- *発表場所(地区)は、自分の所属する大学の場所と一致していなくても結構です。
- *発表申し込み方法：次ページの「JSiSE 学生研究発表会発表申込方法」参照のこと

JSiSE 学生研究発表会 発表申込方法

2011年度 開催地区一覧 (2012年3月開催)

開催地区	連絡先メールアドレス	申込締切	発表原稿提出締切
北海道	小松川 浩 hiroshi@photon.chitose.ac.jp	1月25日(水) 17時	2月10日(金)17時
関東	佐々木 整 jsise-students-submit@eitl.cs.takushoku-u.ac.jp	1月25日(水) 17時	2月10日(金)17時
北信越	松本 豊司 matumoto@wave.ipc.kanazawa-u.ac.jp	1月25日(水) 17時	2月10日(金)17時
東海	山崎 初夫 yamasaki@ccmfs.meijo-u.ac.jp	1月25日(水) 17時	2月10日(金)17時
関西	梶木 克則 kajiki@koshien.ac.jp	1月25日(水) 17時	2月10日(金)17時
中国	笠井 俊信 kasai@cc.okayama-u.ac.jp	1月25日(水) 17時	2月10日(金)17時
四国	林 敏浩 hayashi@eng.kagawa-u.ac.jp	1月25日(水) 17時	2月10日(金)17時
九州	国近 秀信 kunitika@ai.kyutech.ac.jp	1月25日(水) 17時	2月10日(金)17時
沖縄	谷口 祐治 taniguchi@cc.u-ryukyu.ac.jp	1月25日(水) 17時	2月10日(金)17時

◆発表申込について

電子メールにて、以下の6項目をメール本文に、発表要約を添付書類にして、1月25日迄に希望する会場の連絡先メールアドレスに送ってください。送り先と申込締切は「2011年度開催地区一覧」を参照のこと。所属大学の所在地にかかわらず、どの開催場所で発表しても構いませんが、JSiSE 正会員推薦者とあらかじめ相談しておいてください。

項目：①氏名(ふりがな) ②学校名 ③学部・学年 ④JSiSE 正会員である推薦者の所属および氏名 ⑤発表希望場所(北海道、関東、北信越、東海、関西、中国、四国、九州、沖縄のいずれか) ⑥口頭発表希望 or ポスター発表希望(地区によっては無いところがあります。)

発表要約：200字程度(発表題目もつけておくこと)

◆発表の採用・不採用について

発表の採用・不採用については、実行委員会で発表要約を審査後、2月3日(水)迄に結果を通知します。発表希望者が多数の場合は、指導教員1名につき発表者を1名に限定させていただく場合があります。ご了承ください。

◆発表原稿と発表について

発表が採用された場合は、2月10日迄に発表原稿を希望する会場の連絡先メールアドレスに e-mail に添付して送ってください。発表原稿は、

- ① フォント埋め込み済みの PDF に限ります。
- ② 原稿枚数はA4 2枚以内です。
- ③ 原稿にページ数を入れないで下さい。
- ④ 原稿の発表タイトルは、最初に申請したタイトルから変更しないで下さい。

送り先と原稿提出締切は上記の「2011年度開催地区一覧」を参照のこと。発表原稿フォーマットは、JSiSE 全国大会発表フォーマットに従うものとし、実行委員長より提供します。発表時間は、研究発表1件につき20分(発表15分、質疑応答5分)の予定です。また、ポスター発表は、質疑応答を含めて1件につき5分程度です。優秀な発表は、当日、学会長名にて表彰します。以上、不明な点は、発表希望地区の実行委員長にお尋ね下さい。

以上

募集!!

教育システム情報学会 (JSiSE)
2011年度 第6回研究会 発表募集

担当：西端律子，松永公廣，西野和典（研究会委員会）

「情報教育と社会人基礎力／一般」をテーマに，JSiSE2011年度第6回研究会を下記のように大阪工業大学枚方キャンパスにて開催します。

*「特集論文研究会」（別途発表募集）も，同日・同会場で並行して開催します。

- テーマ：情報教育と社会人基礎力／一般
- 開催日：2012年3月17日（土）
- 開催場所：大阪工業大学 枚方（ひらかた）キャンパス
（〒573-0196 枚方市北山1-79-1）
交通アクセス：<http://www.oit.ac.jp/japanese/access/hirakata.html>
- 共催：教育システム情報学会関西支部

- 発表申込締切：2012年1月13日（金）
- 原稿提出締切：2012年2月15日（水）

■趣旨：

大学在学中に社会人基礎力の育成が求められるようになりました。社会人基礎力（アクション、シンキング、チームワーク）には、情報教育によって育成される力も少なくありません。また、この社会人基礎力は、大学での教育だけでなく、初等・中等教育を含めた段階からの育成が必要です。再び就職氷河期を迎えている今、初等教育から高等教育に亘る情報教育の中で、社会人基礎力育成およびICT活用能力の育成の観点から、情報教育のカリキュラム・方法・実践をテーマに研究会を開催することは意義深いと考えます。情報教育全般や、一般（研究領域全般）に関する研究発表も歓迎いたしますので奮ってご応募ください。

- 発表申込先：畿央大学 西端律子 E-mail：r.nishibata@kio.ac.jp

■発表申込方法： ※発表申込締切：2012年1月13日（金）

電子メールで下記の項目をお送りください。

なお、メールの件名には「第6回研究会申込」とお書きください。

- (1) 発表タイトル
- (2) 発表者（登壇者氏名の前に○）
- (3) 所属
- (4) 概要（200字程度）
- (5) 連絡先住所、氏名、電子メールアドレス
- (6) その他、発表に関する要望

■発表原稿の提出： ※原稿提出締切：2012年2月15日（水）

1. 原稿はA4判で、2ページ以上8ページ以下の偶数ページ数でお願いします。
2. 原稿の様式は、学会 Web サイトの研究会開催案内ページの下部に掲載しております「研究会報告執筆要領・見本」をご確認ください。

<http://www.jsise.org/studygroupcommittee/format.html>

3. 原稿の形式と送付先

フォント埋め込みのPDF形式にて下記のメールアドレス宛に添付して送信して下さい。

メールの件名は「第6回研究会発表原稿（お名前）」でお願いします。

また、学会 Web サイトの研究会開催案内ページより「著作物利用許諾書」をダウンロードし、必要事項をご記入の上、発表原稿と併せて電子メールにて送信下さい。

<http://www.jsise.org/studygroupcommittee/kyodaku.txt>

■お問い合わせ先

畿央大学 西端律子

E-mail：r.nishibata@kio.ac.jp 電話：0745-54-1601（代表）

募集!!

教育システム情報学会 (JSiSE)
2011年度 特集論文研究会 発表募集

担当：小西達裕 (研究会委員会/学会誌編集委員会)
松居辰則 (学会誌編集委員会/研究会委員会)
林 雄介 (学会誌編集委員会),

■テーマ : ICTの高度化による先進的学習支援に向けて
-技術と人間の共生を目指して-

■開催日 : 2012年3月17日(土)

■開催場所 : 大阪工業大学 枚方キャンパス
(大阪府枚方市北山1-79-1)

■発表申込締切 : 2012年1月13日(金)

■原稿提出締切 : 2012年2月15日(水)

※特集論文の投稿期限は2012年4月27日です。

■主 旨

ICT (Information Communication Technology) の高度化により、学習・教育におけるコンピュータ利用の方法や形態にも新たな可能性が生まれてきています。高機能化、小型化(携帯化)されたPC、高速なネットワークやモバイル環境、様々なセンサーを用いた詳細な行動データの取得技術などを応用することにより、従来ではなし得なかった新しい学習・教育支援が可能になり、様々なシステムやコンテンツの開発、ユニークな実践が数多く報告されています。一方、技術の高度化において人間がその恩恵を正當に受けて豊かな環境を構築するためには「人間中心」、「人間と技術の共生」という視点が今まで以上に重要になってきます。そこで、本学会では、技術による学習・教育支援の中で、「メタ認知、スキルサイエンス、Affective Learning」をキーワードにして、ICTの高度化による先進的な学習支援(人間中心、技術と人間の共生)に関する挑戦的、未来志向の研究・開発・実践に関する特集論文(テーマ: ICTの高度化による先進的学習支援に向けて-技術と人間の共生を目指して-)を募集いたします。これらの分野に関する多種多様な対象と方法論の知見を共有することにより、この分野の更なる発展と現実世界への貢献の可能性を探ります。掲載は2012年1月発刊号の予定です。募集分野等の詳細につきまして本学会ホームページをご覧ください。

この特集論文の募集に合わせて「特集論文研究会」を以下の要領で開催いたします。特集論文研究会での発表ではコメント希望の有無で2種類の発表形式を選択できます。コメントを希望されます場合には、研究会委員ならびに編集委員会委員が分担してご提出いただきました研究会原稿を読ませていただき、研究会での発表時に論文執筆に役に立つコメントを提供させていただきます。このコメントを参考にさせていただきます、特集論文にご投稿いただきたいと考えております。多くの発表をお待ちしております。

■主な対象

「ICTの高度化」、「メタ認知、スキルサイエンス、Affective Learning」をキーワードにしておりますが、「先進的な学習支援(人間中心、人間と技術の共生)」を志向した理論・技術(システム開発、コンテンツ開発を含む)・実践に関する論文を広く募集します。例えば、次のようなテーマが想定されます。先進的学習支援のための学習者モデル・教授戦略、センサー・計測機器を用いた学習者の行動情報による評価方法や心理状態の推定手法・推定モデル(メンタリング、Affective Learning)、学習スキルの分析と学習支援、スキル(身体性を伴う行動や知識)の獲得支援とコンテンツ開発、学習者の心理状態推定のための知識記述・管理手法(オントロジー)、メタ認知モデルに基づいた教材開発や実践、新しい評価方法 など。

※※発表申込方法・原稿提出方法は、次ページに続きます。

■発表申込方法： ※発表申込締切：2012年1月13日（金）

発表申込先に電子メールで下記の項目をお送りください。

（注）メールの題名に「2011年度 JSiSE 特集論文研究会申込」とお書きください

- （1）発表タイトル
- （2）発表者（登壇者に○）
- （3）所属
- （4）概要（200字程度）
- （5）コメント希望の有無
 - ・有りの場合の発表時間は40分（発表20分、質疑20分）
 - ・無しの場合の発表時間は25分（発表20分、質疑5分）
- （6）連絡先住所、氏名、電話番号、電子メールアドレス
- （7）その他、発表に関する要望

■発表原稿提出方法： ※原稿提出締切：2012年2月15日（水）

原稿提出先に、フォント埋め込みされたPDF形式で、電子メールにて原稿を送信下さい。なお、原稿をPDFに変換する際に、図の解像度を明示的に指定し(300dpi以上)鮮明に印刷可能であることを確認してください。

1. 原稿はA4用紙で、2枚以上8枚以下の偶数枚でお願いします。
2. 原稿の様式は、学会 Web サイトの研究会開催案内ページの下部に掲載しております「研究会報告執筆要領・見本」をご確認ください。
<http://www.jsise.org/studygroupcommittee/format.html>
3. 原稿送付方法と送付先
 以下のあて先に、フォント埋め込みされたPDF形式で、電子メールにて原稿を送信下さい。
 なお、原稿をPDFに変換する際に、図の解像度を明示的に指定し(300dpi以上)、鮮明に印刷可能であることを確認してください。

また、学会 Web サイトの研究会開催案内ページより「著作物利用許諾書」をダウンロードし、必要事項をご記入の上、発表原稿と併せて電子メールにて送信下さい。

<http://www.jsise.org/studygroupcommittee/kyodaku.txt>

■問い合わせ、発表申込、原稿提出先：

名古屋大学 情報基盤センター 林 雄介

E-mail : hay@icts.nagoya-u.ac.jp

■□■□■□■2011年度 研究会開催予定■□■□■□■

日時	テーマ / 会場	担当
第5回研究会 2012年1月21日（土）	テーマ：ネットワークコンピューティングとこれからの教育・ 学習環境／一般 会場：鹿児島大学	佐々木, 永森 三石
第6回研究会 2012年3月17日（土）	テーマ：情報教育と社会人基礎力／一般 会場：大阪工業大学 枚方キャンパス	松永, 西野, 西端
特集論文研究会 2012年3月17日（土）	テーマ：ICTの高度化による先進的学習支援に向けて -技術と人間の共生を目指して- 会場：大阪工業大学 枚方キャンパス	小西, 松居, 林

■□■□■□■2012年度 研究会開催予定■□■□■□■

日時	テーマ / 会場	担当
第1回研究会 2012年5月18日（金） （発表件数により 19日（土）も開催）	場 所：放送大学（調整中） テーマ：eラーニング環境のデザインと組織マネジメント／ 医療・看護・福祉分野におけるICT利用教育／一般（仮）	北村, 仲林 松居

論文特集 Call For Paper
ICTの高度化による先進的学習支援に向けて
-技術と人間の共生を目指して-

ICT (Information Communication Technology) の高度化により、学習・教育におけるコンピュータ利用の方法や形態にも新たな可能性が生まれてきています。高機能化、小型化(携帯化)されたPC、高速なネットワークやモバイル環境、様々なセンサーを用いた詳細な行動データの取得技術などを応用することにより、従来ではなし得なかった新しい学習・教育支援が可能になり、様々なシステムやコンテンツの開発、ユニークな実践が数多く報告されています。一方、技術の高度化において人間がその恩恵を正当に受けて豊かな環境を構築するためには「人間中心」、「人間と技術の共生」という視点が今まで以上に重要になってきます。そこで、本論文特集では、技術による学習・教育支援の中で、「メタ認知、スキルサイエンス、Affective Learning」をキーワードにして、ICTの高度化による先進的な学習支援(人間中心、技術と人間の共生)に関する挑戦的、未来志向の研究・開発・実践に関する論文を募集いたします。これらの分野に関する多岐多様な対象と方法論の知見を共有することにより、この分野の更なる発展と現実世界への貢献の可能性を探ります。

1. 対象分野

「ICTの高度化」、「メタ認知、スキルサイエンス、Affective Learning」をキーワードにしておりませんが、「先進的な学習支援(人間中心、人間と技術の共生)」を志向した理論・技術(システム開発、コンテンツ開発を含む)・実践に関する論文を広く募集します。例えば、次のようなテーマが想定されます。先進的学習支援のための学習者モデル・教授戦略、センサー・計測機器を用いた学習者の行動情報による評価方法や心理状態の推定手法・推定モデル(メンタリング、Affective Learning)、学習スキルの分析と学習支援、スキル(身体性を伴う行動や知識)の獲得支援とコンテンツ開発、学習者の心理状態推定のための知識記述・管理手法(オントロジー)、メタ認知モデルに基づいた教材開発や実践、新しい評価方法 など。

2. 論文種別

すべての種別の論文(原著論文、実践論文、ショートノート、実践速報)を募集します。なお、査読結果により、投稿時とは異なる種別での採録となる場合もあります。また、特集号編集委員会の判断で、一般投稿論文として扱う場合もあります。なお、本特集号では招待論文(依頼論文)を数件掲載する予定です。

3. 投稿要領

一般の論文投稿規定(教育システム情報学会学会誌執筆規定)に準じます。特集研究会(下記)で発表を行いコメントを受けてから投稿することもできます。詳細は教育システム情報学会のWebページで確認してください。以下、Web投稿の際には以下の点にご注意ください。

- すべての方へ: 「投稿種別」で「特集号」を必ず選択してください。
- 特集研究会(2012年3月17日(土) 於;大阪工業大学(枚方キャンパス))で発表を行った方へ: 投稿情報入力の際に「事務局への連絡事項」の欄に、特集研究会での発表題目と発表番号を記載してください。

4. スケジュール

特集研究会: 2012年3月17日(土) 於;大阪工業大学 枚方キャンパス

※特集研究会の発表申込等のスケジュールはメールマガジン、ニュースレター等でご確認下さい。

投稿原稿〆切: 2012年4月27日(金)(特集号研究会から約1か月後です)

掲載予定巻号: 2013年1月1日発行予定の学会誌(Vol.30, No.1)

5. 特集号編集委員会

委員長: 仲林清(千葉工業大学)

副委員長: 松居辰則(早稲田大学)、小西達裕(静岡大学)

特集幹事: 林雄介(名古屋大学)、小島一晃(早稲田大学)

委員: 学会誌編集委員+特集編集委員(大西仁(放送大学)、井上智雄(筑波大学)、椋木雅之(京都大学))

6. 問い合わせ

- 特集号全般に関する問い合わせ:

特集号編集委員会幹事 林 雄介(名古屋大学 E-mail: hay@icts.nagoya-u.ac.jp)

- Web投稿に関する問い合わせ:

教育システム情報学会編集事務局(電話: 03-5389-6492 E-mail: jsise-edit@bunken.co.jp)

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-4-19 株式会社国際文献印刷社 長澤

教育システム情報学会(JSiSE) 2011年度第4回研究会 報告

担当：研究会委員 小尻智子／柏原昭博／平嶋宗／曾我真人

- テーマ：「協調的学習とその支援技術／一般」
- 開催日：2011年11月12日（土）
- 会場：関西大学

2011年11月12日(土)に、関西大学において2011年度第4回研究会を開催いたしました。10時半から15時45分まで、7件の発表が行われました。参加者は31名でした。本研究会では協調学習を支援するための技術やそれらを用いた実践に焦点をあてており、関連する研究発表は3件でした。具体的には、相互評価を用いた映像作品制作に関する実践、スライド修正案を活用してスライド作成スキルに関して議論するための支援システム、植生遷移を学習できるゲームの構築とその実践に関する発表がなされました。特に、植生遷移に関するゲームは、植生遷移の特徴が上手く反映されたゲームの設計となっており、かつ小学生でも楽しめるゲーム的要素もあり、とても興味深いものでした。これら協調学習に関する発表だけでなく、その他の発表に対しても活発な質疑応答・議論がなされ、本研究分野への関心の強さを感じることができました。

■JSiSE 会員の方で「研究報告」の年間購読をご希望の方は、事務局までご連絡ください。この機会にぜひ年間購読されますようおすすめいたします。

■年間購読料 4,000円／年6回発行＜送料込＞

◆◇ 研究報告バックナンバーのお求めは ◇◆

研究報告のバックナンバーを購入ご希望の方は、(株)毎日学術フォーラムまでお申し込みください。1部1,300円（送料共）です。

株式会社 毎日学術フォーラム

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-1-1 パレスサイドビル2階

TEL : 03-6267-4550 FAX : 03-6267-4555

Mail : maf-sales@mycom.co.jp

URL : <http://maf.mycom.co.jp>

国際会議のご案内

国際会議のご案内は、教育システム情報学会の会員のみなさんからの紹介や、インターネット上で流れている CFP 情報をもとに編集されています。会員のみなさんに紹介したい国際会議などがありましたら、ご連絡ください。

また、実際に国際会議に参加されたレポートなどを送っていただければ今後の国際会議の案内作成の際に大変参考になりますので、そちらのほうもお待ちしております。

- 2012 年 3 月開催

- SITE 2012: The 23rd annual conference of the Society for Information Technology and Teacher Education

開催期間 : March 5 - 9, 2012

開催地 : Austin, Texas, USA

URL : <http://site.aace.org/conf/>

論文投稿スケジュール : Call for Submissions: October 21, 2011

- IADIS International Conference Mobile Learning 2012

開催期間 : March 11 - 13, 2012

開催地 : Berlin, Germany

URL : <http://www.mlearning-conf.org/>

論文投稿スケジュール : Call for papers: October 28, 2011

- WMUTE 2012: 7th IEEE International Conference on Wireless, Mobile & Ubiquitous Technologies in Education

開催期間 : March 27 - 30, 2012

開催地 : Takamatsu, Kagawa, Japan

URL : <http://wmute2012.info/>

論文投稿スケジュール : Submission deadline: Nov. 15th, 2011

- DIGITEL: 4th IEEE International Conference on Digital Game and Intelligent Toy Enhanced Learning

開催期間 : March 27 - 30, 2012

開催地 : Takamatsu, Kagawa, Japan

URL : <http://digitel2012.info/>

論文投稿スケジュール : Submission deadline: Nov. 15th, 2011

- 2012 年 4 月開催

- CSEDU 2012: 4th International Conference on Computer Supported Education

開催期間 : April 16 - 18, 2012

開催地 : Porto, Portugal

URL : <http://www.csedu.org/>

論文投稿スケジュール : Regular Paper Submission: November 22, 2011

- 2012 年 6 月開催

- 11th International Conference on Intelligent Tutoring Systems

開催期間 : June 14 - 18, 2012

開催地 : Crete, Greece

URL : <http://its2012.teicrete.gr/>

論文投稿スケジュール : Call for papers: January 23, 2012 (募集中)

- EdMedia 2012
 - 開催期間 : June 26 – 29, 2012
 - 開催地 : Denver, CO, USA
 - URL : <http://www.aace.org/conf/edmedia/>
 - 論文投稿スケジュール : Call for Presentations: December 12, 2011 (募集中)
- 2012年7月開催
 - ICALT: 12th IEEE International Conference on Advanced Learning Technologies
 - 開催期間 : July 4–6, 2012
 - 開催地 : Rome, Italy
 - URL : <http://www.scuolaiad.it/ICALT2012/>
 - 論文投稿スケジュール :
 - Submissions of Workshop proposals: December 15, 2012 (募集中)
 - Submissions of Papers, Panels, Tutorials, Industrial track, European Project track: December 30, 2012 (募集中)
 - 11th UMAP 2011: The 20th conference on User Modeling, Adaptation, and Personalization
 - 開催期間 : July 16–20, 2012
 - 開催地 : Montreal, Canada
 - URL : <http://umap2012.polymtl.ca/en/>
 - 論文投稿スケジュール :
 - Research and Industry papers abstracts: January 17, 2012 (募集中)
 - Research and Industry full papers : January 24, 2012
- 2012年9月開催
 - KES 2012: 16th International Conference on Knowledge-Based and Intelligent Information & Engineering Systems
 - 開催期間 : September 10 – 12, 2012
 - 開催地 : San Sebastian, Spain
 - URL : <http://kes2012.kesinternational.org/>
 - 論文投稿スケジュール : Submission of papers: March 1, 2012 (募集中)
- 2012年10月開催
 - E-LEARN 2012
 - 開催期間 : October 9–12, 2012
 - 開催地 : Montréal, Québec, Canada
 - URL : <http://www.aace.org/conf/elearn/>
 - 論文投稿スケジュール : Call for Participation: Due May 25th, 2012 (募集中)

新入会員の紹介

下記の皆様方が、新しくご入会されました。

○新入会正会員・準会員 (敬称略)

2011/10～2011/11

会員番号	名前	会員種別	所属機関	所属部署	推薦者
JSiSE-A1103126	山口晴久	正会員	九州産業大学	芸術学部	
JSiSE-A1103127	金 宰郁	正会員			
JSiSE-A1103128	三井一希	正会員	上野原市立島田小学校		
				正会員	3
				準会員	0

★☆☆年会費納付のお願い☆☆★

2011年度の年会費の納付期限を、8月末とさせていただきます。まだご入金いただけていない会員の方は、至急お納めください。

また、2010年以前の会費の未納につきましては、本年度分と一緒に請求させて頂いておりますので、ご入金の程よろしくお願いたします。未納が続きますと、ご入金を確認できるまで、学会発送物をお止めさせて頂く場合がございます。また、未納が3年度分を過ぎますと、規約により除名手続きを進めさせていただくこととなります。未納のある会員様は事務局までご連絡をいただければ、期日を過ぎましても受け付けておりますので宜しくお願致します。詳しくは、事務局までメールにてお問い合わせ下さい。

JSiSE 事務局 E-mail : secretariat@jsise.org

※ご登録いただいております情報に変更がございましたら、変更届を事務局までご連絡ください。ご連絡が無い場合、学会発送物がお届けできない場合がございます。

◎振込先◎

◎年会費のご案内◎

■銀行名 : ゆうちょ銀行 支店名 : 019 店
 ■当座預金 : 0709632 ※電信振替 : 00180-6-709632
 ■口座名義 : 教育システム情報学会

■銀行名 : 池田泉州銀行 支店名 : 上新庄支店
 ■普通預金 : 13440
 ■口座名義 : 教育システム情報学会 家本 修

■正会員 : 7,000 円
 ■準会員 : 4,000 円
 ■企業・団体会員 : 50,000 円
 ■研究報告年間購読 : 4,000 円
 ■入会金 : 1,000 円 (初年度のみ)

広島大学大学院工学研究院情報部門 教員公募

1. 募集人員 : 准教授 1名
2. 所 属 : 情報部門 (学習工学研究室)
3. 専門分野 : 人の学習活動を活性化するソフトウェアシステムに関する研究分野。具体的には、インタラクティブシステム (知的 CAI, ITS, CSCL, eLearning, 発想支援システム, 知的インタフェイスなど), 知識工学 (知識マネジメント, オントロジー, セマンティック Web など), マルチメディア応用 (仮想現実感, 拡張現実感, 実世界指向インタフェイスなど) などを含む。
4. 担当科目 : 大学院 : データベース工学特論,
学 部 : プログラミング序説 (C 言語), プログラミング演習 (C 言語) など。
5. 応募資格 : 博士の学位を有し, 当該専門分野での十分な業績があり, 上記の科目が担当でき, 大学院 (博士課程後期) の担当ができること。
6. 着任時期 : 平成 24 年 10 月 1 日, またはそれ以降のできるだけ早い時期
7. 応募締切 : 平成 24 年 3 月 29 日 必着
8. 問合せ先 : 広島大学大学院工学研究院情報部門 教授 平嶋 宗
e-mail tsukasa@isl.hiroshima-u.ac.jp
9. 詳 細 : http://www.hiroshima-u.ac.jp/top/saiyo_syusyoku/kyoinkobo/index.html

新 入 会 員 募 集

教育システム情報学会は、教育分野における情報通信技術の利用に関する学術研究・調査および情報交換を支援し、教育への情報通信技術の利用を普及させることをその目的としています。

定期的に行われる研究会・セミナーなどに、研究成果を発表できることや、そのほか、定期刊行物の論文誌やニューズレター、研究報告書などがお手許に届きます。

教育分野における情報通信技術の利用に関する学術研究に興味のあるお知り合いの方がおられましたら、是非ご紹介をいただきますようお願い申し上げます。

■お申込み方法■

入会をご希望の方は、入会申込書は学会Webページ (<http://www.jsise.org/>) に掲載しておりますので (PDFファイル) ダウンロードしていただき、必要事項をご記入の上、学会事務局にご郵送または、FAX か、メールにてお送りいただきますようお願いいたします。

ご入会の手続きをいたしますので、後日、事務局から入会金や年会費のお支払い方法などの詳しい資料を送付します。

※現在、本学会開催の研究会等で、会場にて新規お申し込みいただいた方には、入会金無料・その場で、学会誌最新刊を進呈させて頂くというキャンペーンを行っております。そちらも、合わせてご案内いただきますようお願い致します。

■学会事務局宛■

〒533-0005

大阪市東淀川区瑞光3丁目3-25 パティオ白川 101

教育システム情報学会事務局 宛

TEL/FAX 06-6324-7767 Email : secretariat@jsise.org



2011年12月

教育システム情報学会(JSiSE)
企業・団体会員の皆様へ

教育システム情報学会
事務局長 家本 修
〒533-0005 大阪市東淀川瑞光
3-3-25-パティオ白川 101
Tel/Fax:06-6324-7767

学会誌(論文誌)への広告掲載のお願い

拝啓 ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は JSiSE の学会活動にご協力いただきありがとうございます。

早速ですが、JSiSE の 2012 年度学会誌(論文誌)への 広告掲載について下記の通り、
ご案内させていただきます。

是非、学会誌(論文誌)への広告掲載をご検討いただきますようお願い申し上げます。

敬具

記

◎申込先 : JSiSE 事務局(E-Mail にてお申込み下さい。)

◎広告回数 : 学会誌 4 巻分 (Vol.29・No.2～Vol.30・No.1)
発行部数 約 1600 部/1 巻

◎広告費(4回分)

掲載場所	申込受付数	企業・団体会員価格	(非会員価格)
表4	1社	50万円	(60万円)
表3	1社	35万円	(40万円)
中刷	4社	15万円	(20万円)

備考:掲載場所につきましてはお申込みをいただきました先着順にお受けいたします。

◎申込締切 :2012 年 1 月末日

◎お申込みのメールアドレスは、下記の通りです。

教育システム情報学会 事務局 secretariat@jsise.org

以上

=====
2012年度 JSiSE 第37回 全国大会 のご案内
=====

■日 程：

2012年8月22日（水）・23日（木）・24日（金）

■開催場所：

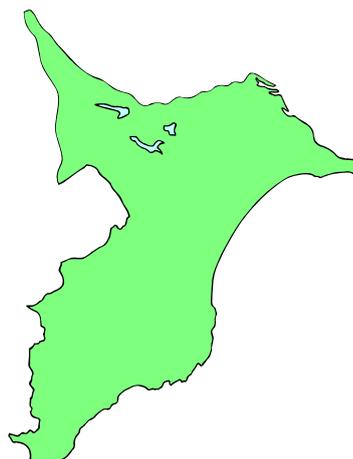
千葉工業大学 芝園キャンパス

〒275-0023 千葉県習志野市芝園 2-1-1

<http://www.it-chiba.ac.jp/institute/campus/shibazono.html>

■お問い合わせ：

JSiSE 事務局 E-mail： secretariat@jsise.org



事務局より年末年始冬季休暇のお知らせ

2011年12月26日（月）～2012年1月4日（水）

会員の皆様には大変ご迷惑をお掛け致しますが、
何卒宜しくお願い致します。